

TWO HEART ツウハート

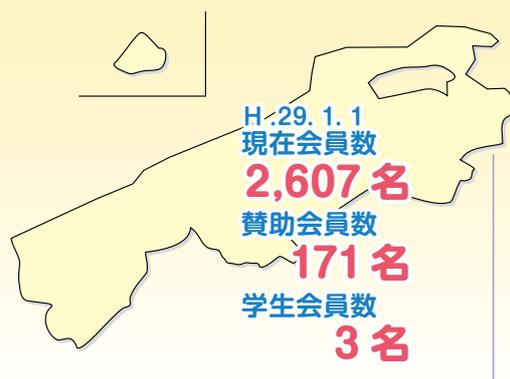
2017/1/1
第43号



INDEX

「中海に映える朝日」

- 島根県看護連盟会長挨拶 ……2
- 島根県看護協会会長挨拶 ……2
- 日本看護連盟会長挨拶 ……3
- 島根県看護連盟創立55周年記念式典報告…3
- たかがい恵美子参議院議員挨拶…4
- 石田まさひろ参議院議員挨拶…4
- あべ俊子衆議院議員挨拶…5
- 木村やよい衆議院議員挨拶 ……5
- 第24回 参議院議員選挙結果について…6
- 施設訪問 ……6～7
- 県別会議報告 ……8
- 日本看護連盟
会長・幹事長・支部長合同会議報告…8
- 看護管理者・教育者セミナー報告…8
- 島根県看護連盟会員入会案内…8
- ポリナビワークショップ in 島根報告…9
- 一般研修会報告 ……9
- 会員施設の紹介 ……10
- お知らせコーナー ……10
- 編集後記 ……10



発行：島根県看護連盟

発行責任者：会長 松浦昌代

〒690-0049 松江市袖師町 7-11 看護研修センター内
TEL(0852) 27- 6361・FAX(0852) 27- 6417
E-mail: shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp

新年のご挨拶

島根県看護連盟 会長 松浦 昌代



新春のお慶びを申し上げます。本年も変わらずよろしくお願いいたします。

昨年は島根県看護連盟創立 55 周年式典を 11 月 19 日に盛大に開催することができました。創立当初より活動を支えられた、諸先輩や会員の業績に対して、改めて感謝の思いを深く致しました。また 7 月に行われた第 24 回参議院議員選挙では高階恵美子参議院議員が、めでたく 2 期目の当選を果たすことができました。会員の皆様の支援の成果でした。今後も看護の現場から人々の生活に視点を置きつつ、看護の政策

に結ぶように活動と支援を続けましょう。

島根県看護連盟では、12 支部長をはじめとしてそれぞれの世代から有能な人材がそろいとも頼もしく思っています。次の世代に確実にバトンタッチができることを確信しています。

平成 26 年に成立した「医療介護総合確保促進法」の成立により、保健、医療介護を取り巻く環境は大きく変化しています。治す医療から、予防し、治し、支える医療へ、病院中心の医療は、地域在宅志向の医療へと変化しつつあります。そのための地域包括ケアシステムの構築や、特に地方に於けるビジョンが、大切になってきます。医師や多くの関係する職種の人々とよりよい連携を図りながら、看護職がチームのメンバーの中心になり、地域の人たちの安心な生活が支えられるようになるべきと思います。そのためには働き方や、看護業務の拡大等の問題があります。「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修の促進や、看護基礎教育 4 年制に向けた具体的な活動を続けたいと思います。

本年も多くの課題解決のため、会員の入会を勧め、組織を強化し共に学び行動しましょう。島根県看護協会会員の皆様と県内の看護職の働く環境や、看護の質向上のために連携を深めたいと思います。

皆様にとって幸せな年になることをお祈りし年頭のご挨拶と致します。

島根県看護協会 会長 春日 順子



あけましておめでとうございます。島根県看護連盟の皆さまには、幸せな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、島根県看護協会事業につきまして、温かいご支援ご協力をいただき心から感謝申し上げます。昨年は、熊本地震や鳥取中部地震、障がい者施設での殺傷事件など人間としての尊厳や生命の尊重が脅かされる事柄が相次ぎました。

看護連盟と看護協会は、人々に“よりよい看護が提供できるように”という共通の目標に向かって政策を考え、法制度を創るために活動しています。ベッドサイドからの声を力に変え、国政の場においてあべ俊子議員、たかがい恵美子議員、石田まさひろ議員、木村弥生議員のますますのご活躍を期待しております。

2016 年の世相を表す漢字が「金」でした。リオ五輪で、陸上男子が 400 m リレーで銀メダルを獲得したことは、記憶に新しいと思います。なぜ、9 秒台が一人もいない日本チームが勝ったのでしょうか。そこには、日本独自のバトンパス、決勝までの緻密な調整、仲間を信じ、ただ前を見つめて戦った結果とありました。

人口減少に歯止めがかからない中、看護の将来ビジョン「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の実現を目指し、研鑽を重ね、看護職の労働環境の整備、看護師基礎教育の 4 年制化等課題に対し、心を合わせて前に進みたいと思います。“ベッドサイドの現場の声が政治を変える”そのことが実現するよう連携してまいります。本年もどうかよろしくお願いいたします。



開かれた楽しい連盟活動を目指して

日本看護連盟 会長 草間 朋子

第24回参議院選も無事終了し、新春を迎えました。決意を新たに、会員みなさまと一丸となって、次の目標に向かってがんばってまいります。

看護職は、これからの日本の「予防し、治し、支える」保健医療介護を担う主役です。看護職が、安心して、明るく、プライドをもって活躍できることが、県民、国民のみなさまによりよい医療介護を提供できる原動力になります。このためには、看護が抱える課題（看護政策）を、一つひとつ実現に向けて組織的に活動していく、看護連盟の「組織の力」の強化が不可欠です。

昨年10月に東京で開催された都道府県会長・幹事長・支部長会の合同会議には、全国から約800名の方々にご出席いただき、会場からは、参議院選への反省、これからの看護政策実現に向けての連盟の在り方等に対するたくさんの意見が寄せられ予定した時間が足りない状態でした。合同会議を通して、改めてこれからの「連盟の底力」を実感することができました。合同会議の後の懇親会の席で、参加した若者のみなさんから「連盟活動は楽しい」という声をかけられ、とっても嬉しく、勇気づけられました。そうです。連盟のスローガンは、「ベッドサイドから政治を変える」です。連盟の活動は、会員みなさまの、「発言」「働き掛け」からスタートするのです。「待ちの姿勢」ではなく、会員みなさまの一人ひとりの前向きな積極的な行動が、看護政策実現に結びつくと信じて、連盟活動を楽しく続けてまいります。

島根県看護連盟創立55周年記念式典

昭和36年に日本看護連盟島根県支部として誕生した島根県看護連盟は、平成28年に55周年を迎えました。去る11月19日(土)に、55周年を祝い記念式典、記念講演会、祝賀会を開催しました。多くの来賓や会員の方のご出席により、盛大に祝うことができました。式典に於いて長年にわたり島根県看護連盟の発展に貢献された方10名を表彰しました。

また、創立50周年の記念誌に続く5年間の歩みを小冊子に纏めています。お手元に届きましたら、看護協会の目的達成のための政治団体としての連盟活動を振り返り、活用して頂きたいと思っております。



島根県看護連盟会長表彰

木村久美子	木村京子	木下愛子	坂本多加子	水津昌子
田中輝子	寺尾温子	村上友代	本井幸枝	八國秀子

新年のご挨拶



参議院議員 たかがい 恵美子

謹賀新年 丁酉の2017年は、直感力と行動力を磨いて運氣を取り込み‘いのち(人生)の実り’について、改めて考えたいと思っています。ひとの生きる力を守り支える看護のパワーを存分に活かせる社会づくりを進めたい。そのために今、私たちは自らの知識・技術・経験を総動員して、諸般の労働法制の改革に取り組んでいかなければなりません。

これからの数年間は、従来の予想を超える多様な医療需要の増加と供給市場の拡大が急速に進むと見込まれます。変化を座して待つのではなく、プロの目利きで時代を先取りする攻めの姿勢で挑みたいものです。

また、2015年に始動した我が国の女性の健康科学については、十分な学術基盤が醸成されるように、2016年に始動した「幸齢社会への挑戦‘ハッピープラチナ運動’」は、順調に各所での事業が充実するように、引き続き力を注いで参ります。

さらに2期連続の自民党女性局長として、7つの重点政策の一層の推進と女性議員の育成と政治力向上の体制整備にも取り組みます。

本年も、看護職の誇りを胸に鋭意努力する所存です。みなさまのますますのご繁栄を心よりご祈念申し上げます。



参議院議員 石田 まさひろ

島根県看護連盟の皆様、新年おめでとうございます。平成29年が皆様にとってすばらしき年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

2017年の干支は丁酉(ひのととり)となります。酉年の“酉(ゆう)”は、「酒」という字のつくりになっているように、収穫した作物から酒を作る、「実る」という意味もあるのだそうです。皆様とともに実りある一年にして参ります。

通常国会においては、引き続き社会保障制度改革の議論が進められていきます。「ニッポン一億総活躍プラン」の初三本の矢として、「第1の矢 希望を生み出す強い経済」、「第2の矢 夢をつむぐ子育て支援」、「第3の矢 安心につながる社会保障」が放たれる中、来年の診療報酬、介護報酬同時改定に向け、今年は大きな山場を迎える年となります。そのことを肝に銘じて私も皆様の声を国政に反映して参ります。

昨年の臨時国会で議院運営委員会理事を拝命し、全省庁の窓口となって議会運営に携わっています。この経験を、看護政策遂行に生かしていきます。

私たち看護職がそれぞれの力を発揮し“いい看護をした”と実感できることは、国民の皆様ひとりひとりが安心して暮らせる社会の必要条件だと思います。看護の現場の明るさは、日本の元気のバロメーターだという信念で国政に取り組んで参ります。今年も、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



衆議院議員 あべ 俊子

島根県看護連盟の皆さまには日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は、全国の看護連盟の皆さまの力添えのおかげをもちまして、国政での看護の議席を堅守できた大変喜ばしい年となりました。

私自身は、新たに自由民主党副幹事長として党務に就かせていただくこととなりました。副幹事長は、選挙の指揮、国会運営・法案審議、党務を統率する幹事長をお支えする重要な役割です。また、ふるさと対話という皆様のもとへ赴いて生の声を聞かせていただくプロジェクトのほか、女性活躍推進や農林水産振興など地方活性化のための取り組みを担当しています。

そして国会内では、厚生労働委員会、政治倫理の確立及び公職選挙法に関する特別委員会(理事)、TPP 特別委員会の委員を拝命し、新たな法律や法改正のための審議に努めています。

今後も引き続き精一杯、政務・党務に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

現在、来るべき法改正に向けて、医療や看護の様々な問題解決のため、議論を進めております。これからの超高齢社会を支えるためには、看護職の皆さまの大きな力が必要です。その看護職の皆さまお一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願うとともに、それを支える立場から、看護がさらにより良く発展していくためのお役に立てるよう、引き続き現場の声をお聞かせいただきながら全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員 木村 やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私が4人目の看護職議員として初当選してから2年が経ちました。どうかここまで来ることができたのも、看護職の先輩議員の皆さまにお育ていただいたからだと思います。あべ俊子先生には事務所ぐるみで諸々ご相談にのっていただいております。石田昌宏先生は少年院や女子刑務所の視察同行にお声掛けくださいました。たかがい恵美子先生は女性局長として、女性局副局長の私に常にアドバイスを下さいます。いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

一昨年は、看護政策はもちろん、多くの先輩議員から助言・指導をいただき、厚生労働省を含む各省庁の各担当者とも議論しながら、医療的ケアが必要な障害児の支援、養子縁組のあっせんの法案等に関わり、また、昨年3月には、当時政務会長であった稲田朋美先生からの推薦により、待機児童問題等緊急対策特命チームの座長に就任しました。

今後も、光の当たらぬところにあたたかな光を当てる仕事に汗をかく政治家でありたいと思っています。

さて、既に皆様ご存知と思いますが、私は自民党京都府第三選挙区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)支部長に選任されました。これからも現場の最前線でいただいたご意見やご要望を、政策に反映してまいります。そして、皆さまのご期待にそえるよう、しっかり成長してまいりますので、京都三区にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただけますようお願いいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 第24回 参議院議員選挙結果について ◆◆◆

今回選挙は選挙年齢が18歳以上に引き下げられたり、一票の格差問題で合区が導入された、公職選挙法改正後の初めての選挙でした。

高階恵美子議員は177,810票を獲得し、党内順位11位で2期目の当選を果たされました。

看護職就労者160万人、看護協会員数70万余人、看護連盟会員数20万余人いる中で、第23回選挙や第22回選挙より獲得票数を減らす結果となりました。

島根県に於いても得票数2,446票、看護連盟会員と得票の比率95.8%で、前回の選挙より111票の減でした。県内の地域別の看護職数や得票数を分析したところ、隠岐や雲南、西部圏域の票に比べ、県内の看護連盟会員の8割弱を占める松江と出雲圏域の得票数が少ないという状況でした。島根県内は国公立病院が多いこと、また各団体が組織候補者を推薦しており対応の厳しさもありました。

看護職能団体として組織代表を国政に送ることによって、法律の制定・改正、労働条件や看護教育等、看護職が抱える多くの問題がこれまでも改善されてきました。少子超高齢社会を迎え看護職に期待される役割も大きくなる中で、まだまだ課題は山積しています。看護職が力を結集すれば大きな力を発揮することができますが、現況では心許ない団体と言わざるを得ません。

3年後の参議院議員選挙に向けて、一人ひとりが看護職としての自覚を持って行動できるよう、組織強化に努めていきたいと考えています。

施設訪問

9月14日(水)に、高階恵美子参議院議員が選挙後のご挨拶に来県されました。高階議員は早朝に東京を発たれ、午前中は鳥取県を回り、午後には安来から松江、出雲と足早に施設を回って多くの方に挨拶して頂きました。皆様には時間通りに訪問できずご迷惑をお掛けしましたが、多くの皆様のお出迎えは、高階議員の活動の支えになることと思います。

高階議員からは看護職の処遇改善や看取りの政策等々、これからの取組みについてお話がありました。

研修受講生、OB会員も
集まって下さいました



日立記念病院



松江赤十字病院



看護協会



松江市立病院



お待たせしました。
皆様にとっとお会い
できました。
これからもご支援
よろしくお願いし
ます。



島根県立こころの医療センター



島根大学医学部附属病院



出雲市立総合医療センター
には時間が遅くなり訪問で
きませんでした。黒崎看
護部長が出雲空港まで面会
に来て下さいました。



島根県立中央病院



日本看護連盟
榮木 実枝 幹事長

島根県看護連盟
松浦 昌代 会長

県別会議

日本看護連盟から榮木実枝幹事長が来県され、10月11日(火)に県別会議がありました。島根県からは役員と支部長・青年部リーダーの22名が出席し、第24回参議院議員選挙と連盟会員数の増加に向けての方策について協議しました。

日本看護連盟 会長・幹事長・支部長合同会議

10月27日(木)に、今年度2回目の合同会議がグランドプリンスホテル新高輪で開催されました。第24回参議院議員選挙の総括が主な議題であり、本部への要望等多くの意見が出ました。

高階恵美子議員の2期目の当選を果たせた喜びはありますが、新たな課題も見えた今回の選挙結果でした。「3年後に向けた選挙への取り組みはもうすでに始まっている」と、熱い意見が飛び交いました。



セミナー報告

看護管理者・看護教育者セミナー

平成28年10月22日(土) 看護研修センター



客野 正彦 氏

平成26年に成立した「医療介護総合確保推進法」受け、消費税増収分を活用した新たな財政支援制度「地域医療介護総合確保基金」が創設され、その基金は自治体ごとに策定される「地域医療計画」に基づいて配分されることになったことは、皆様もご存知のことと思います。

そこで、今年度の看護管理者・看護教育者セミナーは「国の施策を受けて島根県の医療・看護政策がどのように進められているか、また地域医療計画に新たな財政支援制度の『地域医療総合確保基金』はどのように配分されているのか」を、県医療政策課看護職員確保グループリーダー客野正彦氏に説明してもらいました。

今回は講師を交えての意見交換の時間が持てませんでした。地域医療計画に看護の立場での意見が反映できるように事業内容を知り、現場にあった政策に繋がられるようにしていきましょう。

平成28年度 看護連盟会員 募集中

あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護と国民の健康福祉の問題解決を推進しています。

正会員	年会費 9,000 円	本部会費 5,000 円、県会費 4,000 円
特別会員	年会費 9,000 円	正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方
賛助会員	年会費 1,000 円	看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます
学生会員	年会費 無 料	就学している看護学生の方

お問い合わせ

事務局

TEL (0852)27-6361 FAX (0852)27-6417 E-mail : shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

第9回 ポリナビワークショップ in 島根

青年部リーダー 大島 幹 史



今年度は青年部主催で新人研修も兼ねてポリナビワークショップを10月1日(土)に開催しました。参加人数は約90名で、看護職経験1年目～4年目までが7割と若い者が集いました。

石田まさひろ参議院議員に「近代と未来」というテーマで講演をして頂きました。石田議員は、「近代と未来を話すには古代から」という事で、看護歴史の紐を解くように丁寧に話をして頂きました。印象に残ったのは、やはり未来の話でAI(人工知能)についてでした。AIが進化し様々な分野に進出する中、看護の現場にも参入するのだなと思い、自分達もAIにできない看護の力を大事にしないといけないと感じました。

グループワークは、問題を出し政策提言についての話し合いをしました。人員不足や地域連携の問題が多く、解決策として他職種との業務分担、処遇改善、WLBの充実、県外に出た人を卒後戻す対策、病院所属の訪問看護師の配置等などの提言がありました。選挙の年でもあったので、グループ発表でよかったものを参加者が投票で選びました。

今回の参加を機会に横の繋がりを持つ関わりをしていき、一人でも多くの若い人に、政治への関心を持ってもらえる様に工夫をしていきたいと思えます。



一般研修会

平成28年10月2日(日)に石田昌宏参議院議員から「社会保障制度改革について～これからの地域医療～」と題して講演をして頂きました。病院や介護福祉施設、訪問看護ステーション等から会場一杯の参加がありました。講演後には参加者からの質問や意見に対して、石田議員から丁寧に応えて頂き、学びの多い研修会となりました。



* アンケートに記された参加者の声の一部 *

- 急性期病院と慢性期病院の看護の考え方、看護教育のあり方など、堅い頭でしか考えていなかったなと思いました。これからの人生の中で看護職としてどうしていくか考える必要があると刺激を受けました。
- 国のレベルの看護・医療問題について考えるきっかけになったので良かったです。
- 発想の転換がとても大切であること。日々流されて、今後2025年問題を見据えた仕事ができないことを痛感しました。
- 病院勤務ですが自病院の役割がわかっているようでわかっていないことに改めて気づきました。
- 地域包括ケアシステムは、解釈を含めまだまだ地域での議論が不十分で、このような機会がもっと必要と思いました。
- 今まで知っていた知識とは違う切り口の話提供があり、いろいろ考えさせられました。特に「地域とはどこからどこまでか」「在宅とは自宅とは・・・」じっくり考えることができました。
- 地域医療の大切さがよくわかった。固定された考えを改めて、いろいろな発想をしていくようにしたい。
- 急性期病院の勤務経験しかありませんが、日々の勤務で追われる中で、こういったテーマで話し合う機会がなかったですが、このテーマを持ち帰り同世代と話してみたいと思いました。
- 目からウロコでした。私は急性期病院の勤務ですが、病院を取り巻く環境をよく分析し、自分達の役割を考えていきたいと思えます。病院は自宅にならないでしようが、自宅となる場所に気持ちよく帰って頂けるようになるとうれいと感じました。
- 現状と今後の看護が見えて来て、今できることがわかった。
- 社会全体で考え方を変えていかないとすぐには変わらないと常日頃思っていますので、たくさん学びが得られました。自分もそうですが、次の世代に何を伝えていけばよいのか考えさせられました。

+++ 島根県看護連盟会員施設の紹介 +++



学校法人六日市学園 六日市医療技術専門学校

～看護師と介護福祉士の協働を意識した学習の場～

看護科 教務主任 井川 信子

「六日市医療技術専門学校」は島根県西部の吉賀町、周囲を山々に囲まれた自然豊かな場所に建つ看護師と介護福祉士を養成している学校です。

当校の看護科は2年課程の昼間定時制です。1・2年生は准看護師として一週間の半分は学校、あとの半分は仕事をしています。3年生は前半、講義と実習に集中して取り組み、今は卒業と国家試験合格をめざしています。

当校では、介護福祉科の学生とともに合同学習を開き、医療・福祉の専門職の協働について、またチームで学ぶ姿勢を培っています。28年度は、4月に両科の1年生が、どのように学習に取り組むか話し合いました。9月にも「食のセルフマネジメント」をテーマに“食”について考えました。また、11月には島根県と養成校主催で地域の方を招いて介護の日イベント映画上映を開催しました。その際、トークセッションやウエルカムカフェを開き、介護や看護について紹介しました。これからもいろいろな活動を通して、学生とともに職員もまた成長していきたいと思えます。



オープンスクールを随時開催しております。ぜひ一度見学にお越しください。当校で学び、看護師・介護福祉士として地域に貢献していきましょう。



※施設のPRの場として活用して頂ければと思います。掲載希望の施設は、島根県看護連盟までご連絡下さい。

Information to Heart

【研修・行事予定】

月日(平成29年)	行事	場所	演題	講師他
1月28日(土)	松江3支部合同研修会	ホテル白鳥	私たちと政治の関係について	五反正 正彦氏
2月19日(日)	看護協会・看護連盟合同研修会	看護研修センター		石田 まさひろ氏
2月25日(土)	西部研修会	島根県済生会江津総合病院	活動拡大にむけて期待すること	松浦 昌代氏
6月15日(木)	日本看護連盟通常総会	東京プリンスホテル		
6月24日(土)	島根県看護連盟通常総会	ビッグハート出雲		

ぐっすりの眠りが、今日の輝きが変わる。

デオホワイル加工羽毛を採用したゴア®羽毛ふとんでさらに清潔で安心の眠りを。

EDEL
2016-17 collection

Bedding Products

TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社
島根営業所 ☎ 0120-996-104
〒690-0055 島根県松江市津田町 316-2

東洋羽毛では睡眠セミナーのサービスを無料で承っています。お気軽にお問い合わせください。

2015 製品安全対策優良企業 経済産業省
認定
「製品安全対策優良企業」認定
「優良企業」認定

編集後記

今年は丁酉（ひのととり）です。十二支での意味は、仕事および私的にも幅広く様々な情報や知恵を「取り込む」という意味があります。運気の良い一年になりますよう迅速な情報提供と看護現場の声を看護政策に繋がる取り組みをしていきたいと思えます。皆様の声をお待ちしています。

担当 米田・宮本・船田・浅津

表紙写真 安達 寛